



2025年1月15日
株式会社 JERA
株式会社 JERA Cross
東日本旅客鉄道株式会社
株式会社 アトレ
株式会社 ルミネ
株式会社 JR 東日本商事

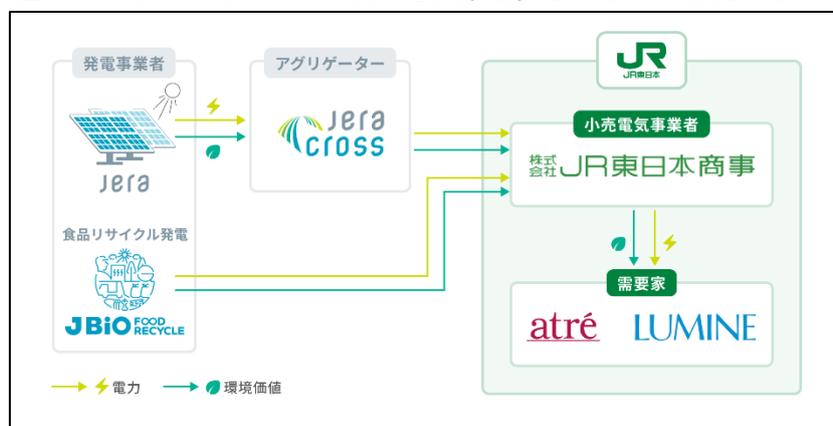
JERAとJR 東日本によるアトレおよびルミネへの 太陽光発電によるオフサイト型コーポレートPPAの導入について

- 株式会社 JERA（以下「JERA」）と東日本旅客鉄道株式会社（以下「JR 東日本」）は、オフサイト型コーポレート PPA（電力と環境価値^{※1}を敷地外にある発電所から需要家に供給する仕組み）の導入に向けた基本合意書を 2025 年 1 月 14 日に締結しました。
- 具体的な取り組みとして、2025 年 2 月 1 日から、JERA を太陽光発電事業者、株式会社 JERA Cross（以下「JERA Cross」）をアグリゲーター^{※2}、株式会社 JR 東日本商事（以下「JR 東日本商事」）を小売電気事業者として、アトレ大井町とルミネ横浜に再生可能エネルギーを供給します。
- なお、JR 東日本商事は、食品廃棄物由来の電力も併せて供給します。複数の再生可能エネルギーを併せて駅ビルへ供給する取り組みは、JR 東日本グループ初となります。
- 両社グループは、再生可能エネルギーの有効活用を通じて、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

1. 本件概要

JERA の太陽光発電所で発電した電力と環境価値を JERA Cross が束ね、JR 東日本商事を通じて JR 東日本グループの駅ビルに供給します。

なお、JR 東日本商事は、JR 東日本グループのアトレやルミネといった駅ビルなどから排出された食品廃棄物由来の電力（株式会社 J バイオフードリサイクル^{※3}が発電事業者）も併せて供給します。



太陽光発電によるオフサイト型コーポレート PPA 導入イメージ

- ・供給開始：
2025年2月1日（予定）

- ・供給先：
アトレ大井町、ルミネ横浜



- ・供給元となる JERA 太陽光発電所：
所在地 関東に計 42 地点
発電設備容量 約 2,000 kW



- ・導入効果：
約 1,543 t-CO₂/年（一般家庭約 1,000 世帯分相当）の CO₂ 排出量を削減

2. 各社の取り組みについて

(1) JERA グループ

JERA グループは「JERA ゼロエミッション 2050」を掲げ、2050 年時点で国内外の事業から排出される CO₂ の実質ゼロに向けて、再生可能エネルギーの拡大に加え、発電時に CO₂ を排出しないゼロエミッション火力の開発に努めています。

(2) JR 東日本グループ

JR 東日本グループは、グループ経営ビジョン「変革 2027」において「ESG 経営の実践」を掲げ、事業を通じて社会的課題を解決することで、地域社会の持続的な発展への貢献と持続可能な開発目標である SDGs の達成を目指しています。また、2020 年には環境長期目標「ゼロカーボン・チャレンジ 2050」を策定し、2050 年度の JR 東日本グループ全体の CO₂ 排出量「実質ゼロ」に挑戦しています。



※1 環境価値：

再生可能エネルギーなどが、環境負荷の小ささによって付加価値として有する価値。太陽光や風力などで作られた電気は、発電時に温室効果ガスである CO₂を排出しない電力であるため、エネルギーとしての価値に加えて、環境価値があると見なされる

※2 アグリゲーター：

複数の発電設備や蓄電設備等のエネルギーリソースを束ねて一元管理する事業者のこと

※3 株式会社 J バイオフードリサイクル：

JFE エンジニアリング株式会社、J&T 環境株式会社、JR 東日本、株式会社 JR 東日本環境アクセスが出資し 2016 年設立。JR 東日本グループのエキナカ・駅ビルなどから排出される食品廃棄物をバイオガス化し発電する事業を行っている
(参考) 2024 年 3 月 27 日発表 https://www.jreast.co.jp/press/2023/20240327_ho03.pdf